

平成28年7月6日

運輸審議会

会長 鷹箸 有宇壽 殿

公 述 申 込 書

運輸審議会一般規則第35条の規定により、下記のとおり公述申込みを致します。

記

1 公述しようとする事案

事案番号 平28第4001号

事案の種類 軌道運送高度化実施計画の認定

事案の申請者 宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社

2 公述しようとする者 ※法人・団体等の記入方法は注意事項②参照

(ふりがな) かんとうじどうしゃ かぶしきがいしゃ よしだ げん

氏名 関東自動車株式会社 吉田 元

(郵便番号) 〒321-0934

住所 栃木県宇都宮市築瀬4丁目25番5号

職業 取締役専務執行役員

年 令 42歳

3 事案に対する賛否

賛

4 利害関係を説明する事項 ※利害関係人のみ記入 (注意事項③参照)

公述しようとする者は宇都宮ライトレール株式会社の取締役(非常勤)であり、関東自動車株式会社は、同社に対して10%出資をしている。

5 自宅、勤務先等の連絡先電話番号

028-634-8131 (勤務先)



【公述内容】

関東自動車株式会社（以下、当社）は、グループ社員数832名、車両数420両を有する栃木県最大手のバス会社であり、一般乗合バス、高速バス、観光貸切バス、企業・学校との契約輸送バス等、様々な輸送形態を通じて、これまで永年にわたり地域の足としての役割を果たしてきました。

当社は、既存の路線バスネットワークを維持しつつ、平成23年以降は、瑞穂野団地線、帝京大学線、バルモール線、戸祭台循環線といった住宅地や商業施設に乗入れている既存路線を強化し、また、交通空白地域を解消するために、平松本町線や今宮線といった新路線を宇都宮市の協力を得て社会実験路線として開始し、平成22年対比での運行本数は100便超の増加となるなど、公共交通ネットワークの維持・拡大を図っているところです。

運行本数を増加させるだけでなく、バリアフリー対応車両としてノンステップバスを積極的に導入するなど、車両の高度化に努めるとともに、ハイグレードバス停や上屋の設置、駐輪場設置によるサイクル&バスライドの推進といった利用環境の整備にも努めています。また、バスロケーションの拡充や運賃経路検索システムの導入、宇都宮駅前の案内人増強といった案内強化についても併せて取り組んできました。

こうした取組みの成果は、路線バスの利用者数の推移に如実に表れてきており、県内の路線バスの利用者数はこれまで年々減少し続けてきたものの、平成23年度について底を打ち、現在では反転しています。

（ご参考）県内の路線バス輸送人員

平成元年度41,473千人、平成12年度24,909千人、平成23年度17,694千人、平成25年度18,205千人、平成26年度18,266千人

当社は、これからも公共交通ネットワークの維持・発展に尽力し、当地域の発展に最大限貢献して参る所存です。

さて、軌道運送高度化実施計画（宇都宮駅東側LRT事業）の認定申請事案についてですが、LRTの整備により、東西方向に新たな基幹公共交通が出来るとともに、公共交通とクルマの両輪を成す街づくりの進展が期待され、周辺地域の居住者人口の増加はもとより、事業所の進出や、交流人口の増加といった効果が期待できるなど、地域全体にとって社会的・経済的効果が見込まれるものと思料します。

また、公共交通は、これからの超高齢化社会を迎える上で、水道や電気等と同様に社会にとって欠くことのできないライフラインであり、LRTの整備をきっかけとして、LRTだけでなく、そこに繋がる様々な交通モードが互いに結節・連携し、公共交通ネットワークを総合的かつ圧倒的に発展させていくことが重要であり、市・町をはじめとした関係各位におかれは、LRTの運輸開始に向けて今後更なる詳細検討をしていくに際して、公共交通ネットワーク全体の面的な持続性・整合性について引き続き配慮いただくとともに

に、公共交通全体に対する資源配分をより一層高めていただくようお願い致します。

宇都宮市は、LRTや鉄道、バス、地域内交通など多様な交通手段を組み合わせた総合的な交通ネットワークを構築し、環境にやさしく子どもから高齢者まで誰もが快適に移動でき、外出によって健康が増進される都市をイメージし、「交通未来都市 うつのみや」の実現を目指す方針を打ち出されました。当社としては、公共交通を重視する姿勢を鮮明に打ち出されている宇都宮市や、今回LRT事業に参画された芳賀町と共に、地方における公共交通の最先端モデルを構築できるよう、今後とも市・町のパートナーとして協働して参りたいと考えております。

最後に、当地域の公共交通ネットワークにおいて、当社は現状ではバスという交通モードの主要部分を担っているところですが、今後とも地域の発展に寄与すべく、鉄道事業も営む持ち株会社グループ（みちのりグループ※）と連携しながら、社会環境の変化に応じて迅速かつ柔軟に対応して参ります。LRTの整備・運営においても当社と相互に連携し、特に運営に関しては当社を含む民間活力を更に引き出し、総体として機能し、事業として持続的な交通ネットワークの実現に向けて、柔軟な対応をお願いしたいと存じます。

※みちのりグループの概要

みちのりグループは、持ち株会社である「みちのりホールディングス」と関東自動車、福島交通、湘南モノレール、茨城交通、会津バス、岩手県北バスで構成される交通事業グループです。関東・東北で一般乗合バスのほか、高速バス、貸切バス、鉄道事業、タクシー事業、旅行事業、ホテル事業を営んでいます。

以上